記載例

注1：本書には必ず変更後の内容を記入願います。
注2：所有する免許状ごとに本用紙を作成願います。（1通の申請書に複数枚の本用紙を添付する事ができます。）

□ 記入必須箇所　□ 変更該当箇所のみ記入　■ 記入不要

1枚目

無線局事項書及び工事設計書

1	免許の番号	【構内無線局の場合】海構第○○○号　（1局分） 【陸上移動局の場合】海移第○○○号　（1局分）
2	申請（届出）の区分	□開設　☑変更　□再免許
3	無線局の種別コード	【構内無線局の場合】ＬＯ 【陸上移動局の場合】ＭＬ
4	開設、継続開設又は変更を必要とする理由	例１：本社住所の移転に伴い、住所及び常置場所を変更するため。 例２：社名変更に伴い、免許人名を変更するため。
5	法人団体個人の別	☑法人　□団体　□個人
6	住　所	都道府県－市区町村コード　〔　　〕 〒（461－8795） 愛知県名古屋市東区白壁１－１５－１ 電話番号（０５２）９７１－９６２３
7	氏名又は名称及び代表者氏名	フリガナ　ﾄｳｶｲｿｳﾂｳｶﾌﾞｼｷｶｲｼｬ 東海総通株式会社
8	希望する運用許容時間	
9	工事落成の予定期日	□日付指定：＿＿．＿＿．＿＿ □予備免許の日から＿＿月目の日 □予備免許の日から＿＿日目の日
10	運用開始の予定期日	□免許の日 □日付指定：＿＿．＿＿．＿＿ □予備免許の日から＿＿月以内の日 □免許の日から＿＿月以内の日
11	無線設備の設置場所又は常置場所 区分	□設置場所　☑常置場所
	住所	都道府県－市区町村コード　〔　　〕 愛知県名古屋市北区△－△
	船舶名	フリガナ
	主たる停泊港又は定置場	
12	移動範囲	基本コード〔　　〕　付加コード〔　　〕 基本コード〔　　〕　付加コード〔　　〕
13	無線局の目的コード	□従たる目的
14	通信事項コード	
15	通信の相手方	
16	識別信号	
17	電波の型式並びに希望する周波数の範囲及び空中線電力	
無線設備を使用する場合に限る。）工事設計書（検定合格機器又は適合表示 18	送信機 ＡＴＩＳ番号	
	個体識別コード	
	検定番号	
	適合表示無線設備の番号	
	製造番号	
19	空中線 空中線型式等	基本コード　付加コード　偏波面コード
	高さ(m)	
	利得(dBi)	
20	附属装置	コード　補足事項
21	その他の工事設計	□電波法第３章に規定する条件に合致する。
22	備考	

ここにチェック

変更申請する免許番号及び局数を記入

変更する理由を記入

該当欄にチェック

【法人の場合】登記されている本社住所
【団体の場合】団体の事務所の住所
【個人の場合】自宅の住所

【法人の場合】法人名のみ
【団体の場合】「団体名」＋「代表者役職名」＋「代表者氏名」
【個人の場合】氏名

ここにチェック

【構内無線局の場合】
無線局の使用場所の住所を記入
【陸上移動局の場合】
無線局の保管場所を記入
※本項目を変更する場合の書類の提出先は、変更前の本項目の住所を管轄する総合通信局となります。（東海総合通信局は愛知県、岐阜県、三重県、静岡県を管轄）